

県全域・産学官連携で行う鳥取式 EV シェアリング事業の経産省事業採択

智頭石油(株)&(株)岡田商店×鳥取大学×鳥取市が連携するガソリンスタンドを活用した電気自動車 (EV) の格安レンタカー事業開始

EV 等の普及を見据えた給油所における新たなビジネスモデルの有効性の実証を目的とする経済産業省 資源エネルギー庁の補助事業である「石油製品販売業構造改善対策事業費補助金（給油所次世代化対応支援事業）」の募集が行われ、智頭石油株式会社、株式会社岡田商店の 2 社で共同提案した「全国初！県全域・産官学連携で行う鳥取式 EV シェアリング」が採択された。今回の採択は全国で 3 件のうちの 1 件であり、補助金は約 6,000 万円であり EV リース費用、宣伝広告費等に充てられる。

【事業概要】

智頭石油(株)は平成 21 年 4 月より独自の
 キャルレンタカーブランドで格安のレンタカー
 事業を行っている。この延長線上に智頭石



油では平成 22 年 7 月より鳥取県と組み、東部、中部、西部の 3 か所で、平日は公用車で利用し、週末は一般に貸し出す電気自動車 (EV) の官民カー・シェアリングを実施してきた。しかし、一般客への貸し出しが週末に限定されることや料金が格安レンタカーに比べて割高であること、そして電池切れの不安があることなどが重なって一般客の利用は進んでいなかった。この度の給油所次世代化対応支援事業の実証実験（平成 24～28 年の 4 年間）では、電気自動車 10 台のレンタル事業を鳥取市の 6 店舗、米子市の(株)岡田商店の 4 店舗で事業を開始する。さらに本事業では、EV の全車種の貸し出し料金を格安レンタカーと同価格まで引き下げ、また今では 52 か所に増えた県内の EV 充電施設を案内するナビを搭載することで電池切れの不安も解消する。これにより利用者にとっては EV を安心して利用でき、ガソリンの給油が不要な分、経済的なメリットが高くなる。

一方で、事業の協力機関である「鳥取市」では、市営の片原駐車場をレンタカー事業の拠点として提供する等の事業推進支援を行い、もう一つの「鳥取大学」では大学院工学研究科の石井晃教授の「ヒット現象の数理モデル（大ヒットの方程式）」を用いて事業の宣伝広告調査・分析などマーケティング戦略のサポートを行う。このように本事業は鳥取県全域、産学官連携で行う新しい鳥取式の EV レンタカー事業として発展することが期待される。事業開始は 10 月で 10 月 3 日にセレモニーを計画している。

<智頭石油株式会社 概要>

代表者：代表取締役社長 米井 哲郎
 本社所在地：鳥取県八頭郡智頭町智頭 640-1
 資本金：1,000 万円
 URL：<http://www.chizu-sekiyu.com/about/>

<株式会社岡田商店 概要>

代表者：代表取締役社長 岡田 輝昭
 本社所在地：鳥取県米子市上福原 673-4
 資本金：4,500 万円
 URL：<http://www.okadashoten.co.jp/>

<事業体制、及び各機関のお問い合わせ先>

事業主体：智頭石油株式会社 TEL 0857-24-0474 販売部長 田中
 関連事業者：株式会社岡田商店 TEL 0859-33-5151 事業部長 戸田
 協力機関：鳥取市 TEL 0857-20-3249 経済観光部経済・雇用戦略課
 協力機関：国立大学法人鳥取大学 TEL 0857-31-6716 産学・地域連携推進機構 長島